



# MINISTRY OF ENVIRONMENT

## 概要

1971年、日本の環境庁は、公害規制と自然保護の促進および強化を主な任務として発足した。任務は拡大し、今日では低炭素社会の確立が我々の目標である。これに伴い環境庁は2001年に環境省(MOE)となり、政府の環境政策において中心的役割を果たしている。

環境省は、政府の環境政策全般の計画に全面的な責任を負い、気候変動、廃棄物管理・リサイクル、環境衛生、公害規制、および自然保護などの様々な分野において、関係省庁との緊密な連携と協力の中で、政策措置を促進および実施している。

日本では、すばらしい自然の景観と生物多様性の保護を目的に29の国立公園が指定されている。これらの国立公園は、合計およそ208万ヘクタールの土地を有し、日本の国土のおよそ5.5パーセントを占める。国立公園の管理はMOEの管轄である。MOE職員は1200名以上おり、東京の本省に加え、全国に7つの地方環境事務所を運営する。

## 戦略

2009年9月22日に開催された気候変動に関する国連サミットにおいて、鳩山総理大臣(当時)は1990年比で2020年までに、科学的要求に基づいて温室効果ガスを25パーセント削減するという日本の中期目標を発表した。全ての主要経済国による公平かつ効果的な国際的枠組の確立と全ての主要国による意欲的な目標の合意を前提としている。この高い削減目標の発表により、我々は日本が他の先進国が率先して高い目標を設定するよう働きかけたものと思う。

「チャレンジ25」は、日本と世界の環境を守り、未来の子供たちに健全な環境を手渡すため、2020年までの1990年比25パーセント削減の目標を達成することを目標にした活動である。政府は、この活動を促進するために全ての可能な政治手段を結集することを決定した。この意欲的目標と活動の達成を目的に、低炭素化社会という新たな持続可能な社会へのシフトのため、国内の地球温暖化防止の運動である「チャレンジ25キャンペーン」は2010年はじめに立ち上げられた。

「チャレンジ25キャンペーン」は、我々一人ひとりが家庭、職場、および地域でCO<sub>2</sub>削減のための行動を起こす6つの実践的チャレンジを提案している。

### 6つのチャレンジ

- エコな生活スタイルを選択しよう
- 省エネ製品を選択しよう
- 自然を利用したエネルギーを選択しよう
- ビル・住宅のエコ化を選択しよう
- CO<sub>2</sub>削減につながる取り組みを応援しよう
- 地域で取り組む温暖化防止活動に参加しよう



Photo Gallery ▶ [英語サイトへ](#)  
<http://www.unep.org/ClimateNeutral/Default.aspx?tabid=1052>